

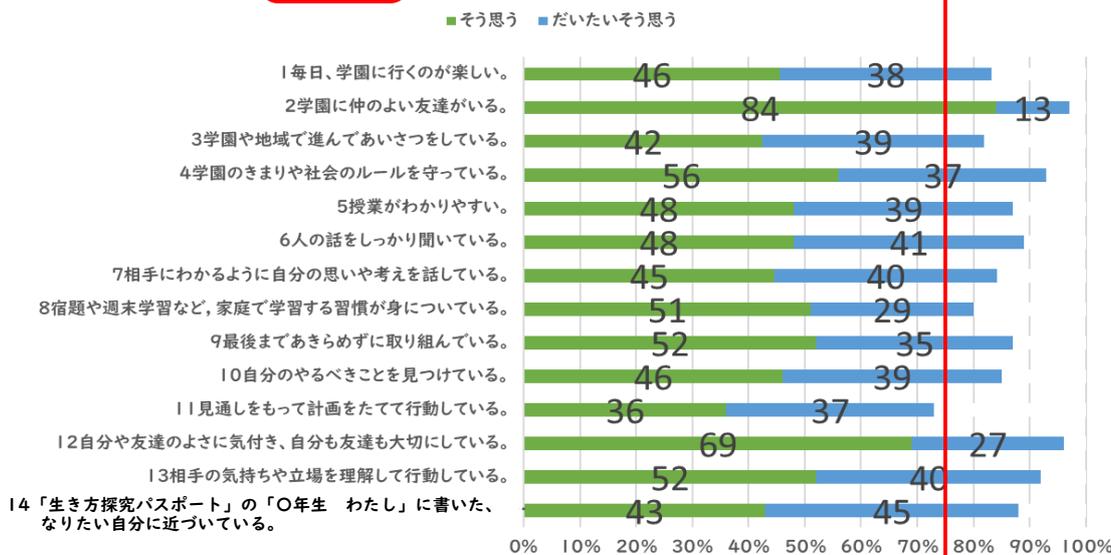
前期学園評価アンケート結果

令和7年
9月実施

学園生

適合度

基準ライン



結果の見方について

・学園生は一人一台の端末を活用し、アンケートフォームから回答しました。保護者の皆様はお持ちの端末で回答していただきました。
・肯定的な回答のみ(横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順)をグラフ化し、75%を達成の基準としています。

結果をもとにした考察

<設問6・7>

学園生は、前年度に続いて高い水準を保っている状況ですが、保護者や教職員は、「自分の思いや考えを話すこと」に課題があると捉えています。これまでも、主体的、対話的な授業づくりを大切にしてきましたが、今後、より一層意識していく必要があります。

<設問11>

これまで、凌風学園では、「凌風コンパス」や「週予定表」を活用して、自分の予定を見える化し、見通しをもって計画をたてて生活できるように取り組んでいます。「見通しをもって計画をたてて生活する」力は、一朝一夕に身に付くものではありません。より使いやすい「凌風コンパス」になるよう、学園生の意見から改良を重ねています。また、各教科等の学習においても、単元のまとめや学習のゴールを意識して学びを進めています。学習、生活の両面から、長期的な視点をもって、この力を養っていくことを大切に、取組を進めています。

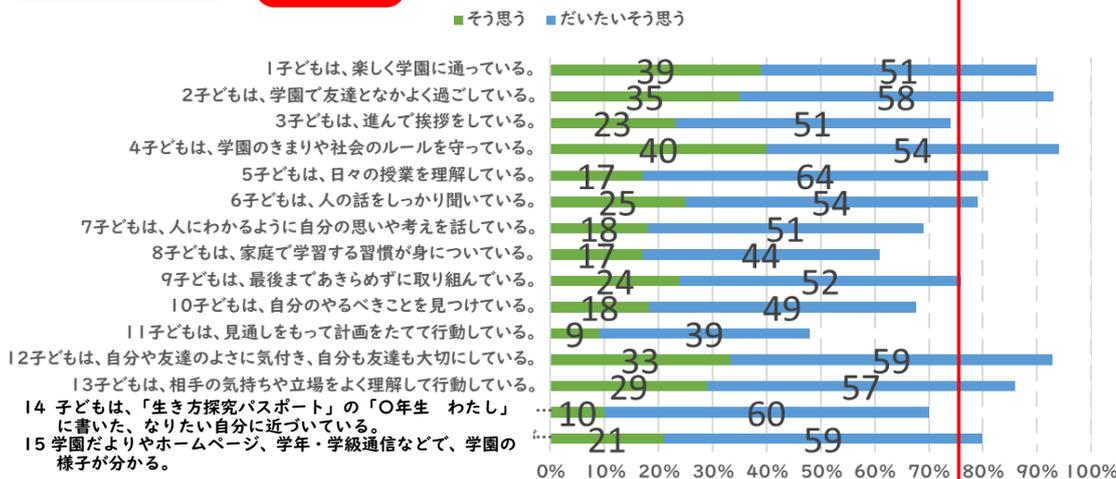
<全体を通して>

家庭学習や挨拶の項目など、学園生と比較してみると、保護者、教職員はまだ課題があると見ている点が見つかります。特に差が大きい項目については、省みて今後の取組につなげていきたいと思っています。

保護者

適合度

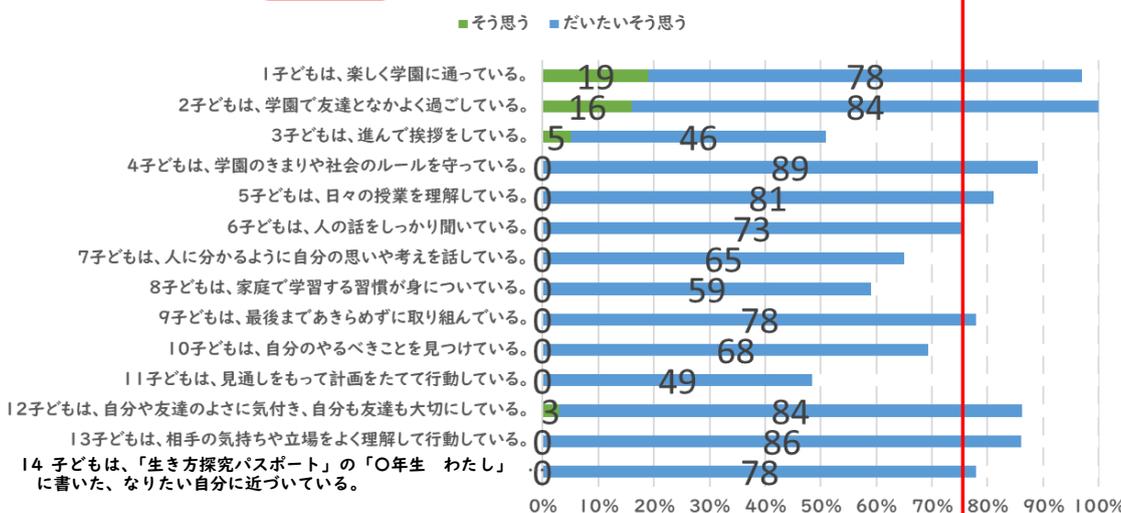
基準ライン



教職員

適合度

基準ライン



お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。お答えいただいた内容から、保護者の方々の思いをうかがうことができました。中に、「ホームページ、書面ももちろんだが、なにより、家庭で子どもの話を聞いている中から、学校で楽しく過ごしていることが分かる。」というお声がありました。今後も、「ホームページ」や「学園だより」などで、学園からのお知らせや学園生の様子をお伝えしていきます。それらをご家庭でのお子たちとの話題のきっかけにいただき、お子たちの学びや成長を感じていただけるよう、より有効な形を模索していきたいと思っています。

今後も、家庭・学校・地域が同じ目標をもって進んでいけますように、ご理解、ご協力、よろしくお願いいたします。